

施策評価シート(平成27年度評価実施)	担当部課名	産業環境部 観光商工課	関連部課名	
基本目標	賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】			
施策名	商業・サービス業			
蒲郡駅を中心とした市街地と商業基盤の整備を一体的に進めて中心市街地活性化を図るとともに、地域の特徴を活かした商店街づくり、個店に対する経営相談、各種融資制度の利用促進、後継者の育成、空き店舗を活用した新規の出店支援などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> ●個性溢れるお店とやる気のある事業主が集う、賑わいと活気あるまちになっています。 ●地域の課題に対応する機能を持ち、生活の拠点となる商店街が維持されています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 人をひきつけ活気あるまちづくり

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
福寿稲荷ごりやく市	年6回 2,216千円	年6回 2,400千円	年6回 2,400千円
商店街魅力向上事業	0	0	200千円(街ゼミ開催)

2 魅力ある個店の育成

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
おらがの店じまん事業(参加店舗数)	513千円(48店舗)	522千円(50店舗)	600千円(50店舗)
小規模企業等振興資金支払件数及び金額	133件、4,936千円	133件、4,656千円	135件、5,006千円
小規模事業者経営改善資金利子補給支払件数及び金額	11件、443千円	15件、769千円	10件、560千円

3 空き店舗の解消と後継者の育成

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
空き店舗対策	1件、290千円	2件、600千円	2件、600千円

4 商店街活動の支援

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
街路灯電灯料補助(街路灯数)	6,669千円(824基、アーチ1)	7,158千円(795基、アーチ1)	6,873千円(795基、アーチ1)
共同施設事業(街路灯LED設置補助)	540千円	0	1,080千円
商店街活性化事業支援補助	296千円	214千円	270千円

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
福寿稲荷ごりやく市通算開催実績及び平均入出数	目標値	59回(5,000人)	65回(5,000人)	71回(5,000人)	101回(6,000人)
	実績値	59回(5,000人)	65回(4,966人)		平成32年度
福寿稲荷ごりやく市実施後平常時集客数の増加(中央通り店舗アンケート結果)	目標値	35%	35%	40%	50%
	実績値	31.3%(5/16店舗)	55.0%(11/20店舗)		平成32年度
空き店舗出店累計件数(カッコ内累計)	目標値	2件	2件	2件	累計19件
	実績値	1件(4)	2件(6)		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
福寿稲荷ごりやく市通算開催実績及び平均入出数	ごりやく市の継続的開催を通じた商店街活性化(年6回)
福寿稲荷ごりやく市実施後平常時集客数の増加(中央通り店舗アンケート結果)	ごりやく市を通じた新規顧客獲得及び平常時の集客力向上
空き店舗累計補助件数	空き店舗出店者支援による商店街形成と魅力向上

◆指標の分析

福寿稲荷ごりやく市は平成16年度よりスタート。地域に根ざしたイベントとして定着し、平成27年11月には第70回を迎える。天候の影響はあるものの、毎回5,000人程度の集客がある。当イベントが開催される中央通りに面した個店へのアンケート調査では、平常時の集客に効果があると回答する店舗が増えつつある。空き店舗対策は平成23年度より実施しており、平成26年度は飲食店2店舗の出店が実現し、商店街の不足業種を補っている。

◆今後の方針

福寿稲荷ごりやく市は市民に定着し、集客力がかなり上がってきたが、まだ個店の収益に結びついていないといえず、事業実施日以外の日の集客に課題を残す。また、空き店舗、廃業後の店舗取り壊しも増加傾向にあり、商店街の維持形成も不安材料の一つである。商店街の体力減退から街路灯維持管理が困難になりつつある。中小商工業等金融対策事業は、制度の周知が図られ、利用実績も安定している。平成27年度から創業等支援資金信用保証料補助金制度を新設し、創業者を金融面から支援するが、事業の円滑な立ち上がりのためには総合的な施策が求められる。空き店舗対策事業は優良物件の確保と、貸し手と借り手のマッチングが課題である。

今後の施策展開
市街地の空洞化が最大の課題である。商店街については、今後も積極性のある商店街を中心に助成を図る。平成27年5月に国から創業支援事業計画の認定を受け、「がまごおり創業支援ネットワーク」を軸とした創業(開業)支援は動き出したばかりであり、今後は時代に即した効果的な施策を模索していく。中小商工業等金融対策事業は、重要な商工振興・中小企業支援施策と位置づけて実施し、当面は、国が重点施策として取り組む創業支援について強化したい。中心市街地活性化関連事業は、個店の収益増の方向性を探りながら、効果的な施策を実施していく。

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	空き店舗対策として家賃と改修費の補助を行なうチャレンジマート事業は蒲郡商店街振興組合に限定して実施中であり、毎年数件の出店が実現しているが、根本的な解決には至っていない。廃業後の店舗を住居や駐車場等へ転換する方も見受けられる。中心市街地活性化の問題も含め、商店街の存続・活性化を図るための空き店舗対策が求められる。創業支援事業は、まだ有効な施策を模索している状態であり、今後、事業の検証をしながら効果的な支援方法を見出したい。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	商店街活性化を目的とした「福寿稲荷ごりやく市」は魅力あるイベントとして定着してきたが、商店街全体としての収益に結びついていないのが現状である。空き店舗対策、創業支援、金融対策など、中心市街地活性化に向けた事業展開を商工会議所と協力して推進すべきである。